



このころ十数年前のバブルの時代をほうふつとさせるような世相が気になって仕方がない。

昨年のヒット商品番付による「株式会社ネット取引」が大関にランクされたそうだ。今年に入りネット取引に関連した事件も起き、マスコミをにぎわせている。

「一案内の通りバブル崩壊は実態のないものを背景に株などがバブルな状態になりはじめてしまったわけで、日本人は多くのことを学んだはずであった。しかし、人間の心は弱いもので株などが上昇し始めるとのど元過ぎれば、といった感じてまたま

た危うい雰囲気が醸し出されてるように見える。

バブルの時代に学園経営の責任者になった私も随分と振り回されたが、十年ほど前経営をしていく上での一つの考え方にたどり着いた。

経営の3K



草野 義輔

思っている。

第二は気配りのKで、これは従業員への掌握力ということになる。

そして第三のKはある意味でこれが最も大切ではないかと思うものだが俗に言う勘である。これも言い換えれば先見性というべきもので、このセンスの有無が経営を預かるものにとって最も大切な能力ではないかと思う。

今地方は多くの業種において過疎化、少子高齢化等々、厳しい環境の中で生き抜く方策を模索している。私もこの三つのKを常に意識しながら取り組んでいるが、もう少し勘が働けば、と思うこのころである。

(日田市昭和学園高校理事長)